

会 議 録

(7-1)

会議の名称		令和5年度第3回春日部市総合教育会議	
開催日時		令和6年2月8日（木）	開 会 午後4時00分
			閉 会 午後4時55分
開催場所		市役所5階 市長公室	
議長(会長等)氏名		岩谷 一弘	
出席者	委員氏名	(出席人数：6人) 市長 岩谷 一弘 教育長 鎌田 亨 教育長職務代理人 水沼 章文 教育委員 金森 良泰 教育委員 岡田 新司 教育委員 山口 早苗	
	説明者 その他	(出席人数：11人) 財務部長 深堀 晴彦 学校教育部長 篠原 直樹 社会教育部長 小谷 啓敏 財務部参事兼管財課長 浜村 三博 学校教育部次長兼教育総務課長 成塚 淳一 学務指導担当次長兼指導課長 佐山 宏樹 社会教育部次長兼社会教育課長 佐藤 篤実 新庁舎整備担当課長 小峯 崇弘 行政デジタル改革課長 土谷 幸雄 指導課担当課長兼教育相談センター所長 山本 智英 スポーツ推進課長 清水 一男	
	事務局	(出席人数：4人) 総合政策部長 波多野 康治 総合政策部次長兼政策企画課長 野本 昇 政策企画課政策企画担当主幹 染谷 学 政策企画課政策企画担当主事 土居 昌弥	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		<次第> 1 開会 2 市長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 協議・調整事項 (1) 新庁舎の施設概要について（社会科見学を含む） (2) 不登校について（コロナ後の課題） (3) プロスポーツを通じた青少年教育について（市と連携協定を締結しているプロスポーツとの事業を例に） (4) その他 5 報告 春日部市地区センター設置方針について 6 事務連絡 7 閉会 <div style="text-align: right;">(全て公開)</div>	

一部公開・非公開 の場合はその理由	非公開部分は、ありません。
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度第3回春日部市総合教育会議 次第 ・ 令和5年度第3回春日部市総合教育会議 座席表 ・ 令和5年度第3回春日部市総合教育会議 名簿 ・ 春日部市新庁舎パンフレット ・ 春日部市小・中・義務教育学校における不登校について ・ プロスポーツを通じた青少年教育について(市と連携協定を締結しているプロスポーツとの事業を例に) ・ 春日部市地区センター設置方針 新旧対照表 ・ 春日部市地区センター設置方針
会議録の作成方法	■ 録音テープ等を使用した要点記録
会議録署名の指定	市長による署名

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
説明者	<p>【1 開会】 ≪春日部市総合教育会議要綱第7条により、会議の内容全てを公開とすることの報告等≫</p> <p>【2 市長あいさつ】</p> <p>【3 教育長あいさつ】</p> <p>≪ここからの議事進行は、市長≫</p> <p>【4 協議・調整事項】 (1) 新庁舎の施設概要について (社会科見学を含む) ≪資料に従い説明≫</p>
議 長	<p>こちらのテーマについては、実際にご覧いただいた際に、何かご質問等がありましたらお声がけいただければと存じますが、今の時点でご意見やご質問はございますか。</p>
委 員	<p>≪特になし≫</p>
説明者	<p>(2) 不登校について (コロナ後の課題) ≪資料に従い説明≫</p>
議 長	<p>現在、潜在的な不登校も含めて、相当数の不登校児童生徒が存在しており、極めて憂慮すべき事態であるといえます。 現状を踏まえて取り組むべきことの提言や、疑問などがあればお願いします。</p>
委 員	<p>不登校児童生徒数は、コロナ禍をきっかけにして、非常に増加しています。不登校の要因としては、こども本人、家庭環境、教員との関係性の3点が関連していると考えます。 文部科学省の調査によれば、平成17年度と令和4年度の不登校児童生徒の割合を比較すると、小学校では0.32%から1.7%に、中学校では2.75%から5.98%に増加しています。 埼玉県は全国的に見ても不登校児童生徒数が多く、春日部市でも同様に多くなっていると考えます。 細かな指導や話し合いにより、こども、親、教員の関係性をいかに良好にするか、非常に難しい課題であると感じています。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	<p>抽象的で非常に難しい課題であると感じています。</p> <p>相手が何を考えてるかを聞き出さないと対応策が立てられないと思いますので、視点を変えて考えると良いと思います。</p> <p>資料の不登校児童生徒数の表は、学年ごとに新規に不登校となった数と不登校を継続している数がわかると、問題提起できるのではないかと考えました。</p> <p>こどもの考えを聞き出せるよう、現場の方をお願いしたいです。</p>
委 員	<p>不登校児童生徒の中には、母親が不安定な方が多く、それがこどもに伝わるのではないかと感じています。</p> <p>また、昼夜逆転し、朝起きられなくて学校にいけないこどもも増えています。</p> <p>中学校にはスクールカウンセラーが配置されていますが、小学校にも配置されると良いと考えます。</p>
説明者	<p>小学校にもスクールカウンセラーは配置されています。今年度からは4校に1人配置され、月に一度カウンセリングを行っています。</p>
委 員	<p>毎朝こどもが登校する姿を見ますが、5～6人の集団であっても会話がなく、下を向いて歩いている子をよく見かけます。</p> <p>こどもたちがお互いの世界を認め合い、話し合いながらバランスよく成長していくような社会環境、学校環境になると良いと思います。こどもたちが自らを解き放つ場所や、逃げ場所を大人が作ってあげると良いと考えます。</p>
教育長	<p>教室に入れない子の対応については、学校も非常に大きな課題であるにとらえており、様々な手立てを講じながら働きかけていますが、それとつながることができる家庭もあればできない家庭もあり、本当に困っています。</p> <p>コロナの影響や、令和元年度からの国の考え方の変化によって、必ずしも学校に行かなくてもいいような風潮になっている中で、大切なのはつながりを持つことであり、不登校児童生徒のうち、学校や相談機関とのつながりを持っていない3～4割のこどもたちを何とかする必要があると考えています。</p> <p>最終的に大切なのは社会的自立であるため、教室に来られないこどもたちに対し、学習支援やつながりの創出をしっかりと行うことを来年度の重点として考えています。これらは小学校の段階で着手する必要があるため、今後は小学校期からの不登校への支援に力を入れていきます。</p> <p>先ほどの所長の説明に加えると、スクールカウンセラーの他に、さわやか相談員も定期的に小学校を訪問しています。</p> <p>また、教育相談センターの臨床心理士などが相談役になって、救われている保護者やこどもも多いと認識しています。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長	<p>先日開催された不登校を考えるシンポジウムに参加しましたが、大変勉強になりました。何もやらなければ何も進まないため、様々考えて押し引きをしながら、こどもの気持ちが盛り上がったときに少し背中を押してあげることが大切で、それまでつながりを絶やさないことが重要だというお話がありました。</p> <p>また、本人、家庭、学校のバランスもとても大切で、強制することではなく、真剣に向き合い、様子を見ながら進めて行く必要があるというお話もあり、これらは社会にも通じると感じました。</p> <p>さらに、教室に行けない原因を他人のせいとするこどももいるため、自分で考えて自分の責任でやるよう、本人に選択させることが重要だというお話もありました。</p> <p>この問題は、もっとこどもに軸足を移して考える必要があると思います。難しい問題であるため、今後は様々な機会を捉えて、全市のどのようにこどもと接しているか聞いてみるのも良いと考えます。</p>
説明者	<p>(3) プロスポーツを通じた青少年教育について(市と連携協定を締結しているプロスポーツとの事業を例に)</p> <p>《資料に従い説明》</p>
議 長	<p>こちらのテーマについて、委員の皆様から順番にご意見をいただければと思います。</p>
委 員	<p>能登地震に際して、プロのバスケットボールチームが炊き出しを行い、被災地に力を与えているとのニュースを見ました。</p> <p>現在春日部市では埼玉西武ライオンズやさいたまブロンコスと接点がありますが、大宮アルディージャや浦和レッズのOBなどに指導に来てもらう機会も設けられるのではないかと思います。</p> <p>素晴らしい企画なので、ぜひ続けていただきたいと思います。</p>
議 長	<p>他におすすめのスポーツはありますか。</p>
委 員	<p>相撲も良いと思います。</p>
委 員	<p>良い取組だと思いますが、相手のニーズを把握することも重要だと考えます。せっかくやるなら、しっかりとニーズを掘り出して進めていただければと思います。</p>
委 員	<p>参加しているのは実際にスポーツチームに所属しているこどもがほとんどであり、今一つ浸透していないと感じ入るため、今後さらなるアピールを実施してほしいと考えます。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
教育長	<p>スポーツ推進課では事後アンケートを実施しているのでしょうか。もし実施していれば、どのような意見があったか、覚えている範囲で教えてください。</p>
説明者	<p>春スポふれんずは、日常的にあまり体を動かす機会のないこどもをターゲットに、スポーツの楽しさを体験してもらいたいという思いで、ここ2年事業を行っています。</p> <p>こどもたちから、直接選手と触れ合うことが楽しいとの声をいただいております、アンケートでもイベント自体は楽しかったという感想が多かったと記憶しています。</p> <p>種目の関係については、今後研究していきます。</p>
教育長	<p>親のすすめが大きいと考えるため、うまく親を巻き込むことも必要と考えます。</p> <p>現役のプロスポーツ選手はなかなかハードルが高いと思いますが、プロスポーツのOBの活用や、かすかべ親善大使の渡嘉敷選手など春日部にゆかりのある人のつて、プロスポーツの試合観戦など、様々な機会をこどもたちに紹介してあげることから始めるのも良いと思います。情報収集に努め、たくさんのかどもたちにスポーツや文化に触れ合う機会をつくってあげられるよう、一緒に勉強して頑張りましょう。</p>
議 長	<p>様々なご意見をいただきありがとうございます。調査研究して、よりよい企画にブラッシュアップできれば良いと思います。</p> <p>春スポふれんずとは別の、スポーツ推進委員が企画・運営しているイベントへかすかべ親善大使の佐藤勇人氏にお越しいただいていたと記憶しています。</p>
説明者	<p>今年度、シティセールス広報課と連携し、スポーツ推進委員協議会が主管する健康スポレクフェスタにかすかべ親善大使の佐藤勇人氏にお越しいただき、こどもたちとの触れ合いの機会を設けたところ、大変好評でした。</p>
議 長	<p>スポーツ推進委員が様々なゲームを考えて行うイベントで、こどもたちも楽しんでおり良い取組だと思えます。こちらもしっかりPRを行ってほしいと思えます。</p>
議 長	<p>(4) その他 その他として、皆さまから何かございますか。</p>
委 員	<p>《特になし》</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
説明者	【5 報告】 《資料に従い報告》
事務局	【6 事務連絡】 令和6年度の総合教育会議の開催については、本年同様3回程度とし、定例教育委員会後の開催を予定しております。会議の内容等につきましては、今後、ご連絡させていただきますので、よろしく申し上げます。 【7 閉会】

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和6年 3月12日

署名者の職・氏名 春日部市長 岩谷 一弘 (原本は自著)